Ⅱ　NIE を実践しよう

1　日常的に新聞を活用する活動

（1）　新聞スクラップ

②スクラップの手順と書くこと

1　記事（写真）の選定　→　2　記事（写真）の切り取り・貼り付け　→　3　タイトル・要約　→　4　感想

・記事の選定

まずは児童が気に入った（気になる）記事選びから始まります。児童が家庭から持参した新聞から記事を選びます。クラスの児童全員が新聞を開いて記事を探している様子は圧巻です。ＰＩＳＡ型読解力には「取り組む能力」という意欲面の能力も取り入れられています。新聞にはいろんな記事が掲載されており、児童生徒の興味を大変高めてくれます。ぜひ新聞の中から気に入った記事を探す活動を多く取り入れてほしいと思います。

時間がない場合や朝自習などでスクラップを行う際には、家庭であらかじめ記事を選んできてもらうのもよいと思います。その際にはぜひお家の方にもお願いして、一緒に記事選びをしていただくとよいでしょう。それだけで家族とのコミュニケーションも増え、大人の考えなども聞けるからです。

しかし、できるだけ教室で記事選びもさせたいところです。ジャーナリストの池上彰氏が著書の中で、新聞を読んで自分の興味関心とは異なる「ノイズ」に触れることによって、自分の世界を広げることができると述べています。児童が様々な「ノイズ」に触れながら記事を選んでいる姿を教師はぜひ見ていたいものです。児童の新たな発見にもつながると思うのです。

⇩

・記事の切り取り・貼り付け

記事が見つかったら、これを切り取り台紙やノートに貼り付けます。はじめのうちはどこまでが同じ記事なのかが分からないこともありますので、ラインマーカーなどで記事全体を囲んで印をつけてから切るとよいでしょう。貼り付けの際は、スティックのりを使うとべたつかずに、上手に貼りつけることができます。児童は回数を重ねるごとに上手になってきます。

⇩

・タイトル・要約

記事が貼れたら記事についてまとめていく作業をします。明治大学教授の斎藤孝氏はスクラップをしたら、「記事の背景」「記事の概要」「今後どうなるか」を書いておくとよいと述べています。しかし、慣れるまではかなり時間がかかってしまうため、記事について自分なりの見出し（究極の要約）と５W1H を書きだすだけでもよいと思います。この活動がＰＩＳＡ型読解力の「情報へのアクセス・取り出し」「解釈・統合」の力を伸ばします。

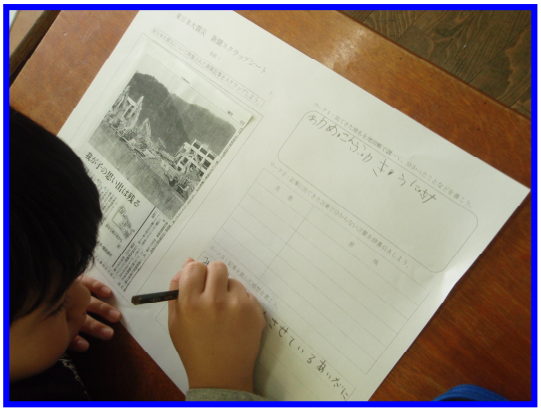
⇩

・感想

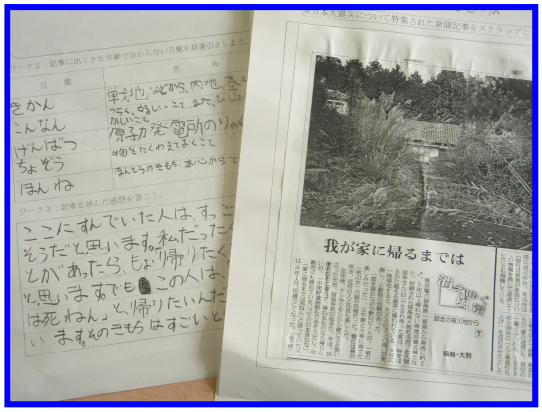
最後に感想をまとめます。感想を書く際には単に「よかった」「おもしろかった」だけでなく、「どうしてこの記事や写真を選んだのか」「記事を読んで自分とどうかかわると

思ったか」なども書くようにすると、活動に深まりがでてきます。特に大切なのは、記事の内容をもとに、自分の経験などと照らし合わせた感想や考えを書くことです。私自身がこれまで実践をしてきて、この部分が児童の苦手とするところだと感じています。毎回のスクラップで自分の考えをきちんと表現できる力が養われ、各教科等の学習においても、学習したことを生かした自分の考えをもてるようになってくると思います。この活動がＰＩＳＡ型読解力の「熟考・評価」の力を伸ばします。

最後に時間があれば、次回スクラップをしてみたい記事について考えさせるとよいでしょう。そうすることで、普段新聞を眺めている際に、自分が考えていたテーマの記事を見つけるようになります。このような活動を継続的に行うことによって、児童の能力も螺旋的に高まっていくと考えます。



（朝自習にスクラップに取り組む児童）



（児童のスクラップシートの例）